

スポーツ健康科学科

キーワード

スポーツコーチング、バレーボール、ゲーム分析、バレーボールコーチング論



教授/学士（体育学）

中垣内 祐一

Yuichi Nakagaichi

学歴

筑波大学 体育専門学群

経歴

日本製鉄株式会社 大阪支社土木建材室、バレーボールチーム堺ブレイザーズ（選手、監督、GM）、
日本シニア男子代表バレーボールチーム（選手、コーチ、監督）
アメリカ男子代表バレーボールチーム ボランティアコーチ
ギリシャ男子代表バレーボールチーム アシスタントコーチ

相談・講演・共同研究に応じられるテーマ

勝つためのチームマネジメント、バレーボールゲーム分析

メールアドレス

y-nakagaichi@fukui-ut.ac.jp



主な研究と特徴

「テーマ バレーボールのゲーム分析」

バレーボールにおける世界標準の分析ソフトであるDATAVOLLEY（データバレー）を使用し、技術分析、ゲーム分析を行うことで、本学の中学女子から大学チームまでを効果的に支援していくと同時に、日本代表チームレベルの国際試合を分析することで、日本の国際競技力の向上に繋げていく。

「求められる人材の育成」

優れた選手の発掘育成には、何ごとにも全身全霊をかけ熱意をもった指導が根幹となる。今まで懸命に取り組んできたバレーボールという競技の経験を活かし、世界へ羽ばたくアスリートの育成に尽力する共に、競技から離れて社会に出ていくときに求められる人材となる様、学生の人間力アップを目指した教育活動を目指している。



写真1. 授業風景

今後の展望

本学バレー部総監督として、中学から大学までのバレー部の指導に携わり、競技力向上への一助となっていく。

また学生アナリストを養成していくことで、プロの世界で求められるアナリスト育成に繋げていきたい。

また大多数が高齢者である農業（特に稲作）において、有益な体力トレーニングを提供しリハビリテーションの助けとなることや、本学FUT未来ロボティクスセンターと現場との橋渡しを行うことで、農業の現場と研究の世界が繋がるような活動に結び付けたい。

所属学会

日本バレーボール学会

主要論文・著書

2004 中垣内祐一のファンダメンタルバレーボール